

平成31年度事業報告書

法人の名称:特定非営利活動法人たけのこ会

1 事業の成果

相談支援では、これまで行なっていた、いわゆる障害当事者が行なう相談については、従来の自立支援センターとは切り離し、新たに社会貢献事業として、たけのこ会フリースペースという名称でスタートさせた。従来の自立生活支援センターは、そのままサービス利用計画を積極的に行いながら一般相談も取り入れ利用者のサービス設計を構築している。

生活介護事業では、利用者、スタッフ共々、充実してきた事から活動内容を作業や生活実習だけではなく、それぞれの趣味を活かしながら楽しいプログラムを構成し利用者が心身ともにより健康な生活が送れるようつとめています。

居宅介護事業では、若い障害者たちのニーズを発掘し、将来的には、自立生活へつなげていくため、いつでもヘルパー派遣が可能になるヘルパー募集の活動に力を入れ、現在、未来の両面から期待できるヘルパー体制を構築している。

身障者用グループホーム運営事業では、入居者に対する対応のマンネリ化を防ぐため、スタッフの一部入れ替え、また、それと同時に地域の防災訓練や祭り、運動会等へ積極的に参加し、地域住民との交流をはかっている。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

(1) 障害相談支援事業

- ① 事業の内容:サービス利用計画を作成し、一般相談を取り入れ情報提供を行ない、自主性を尊重した、自立生活へのアプローチを行なっている。
- ② 事業の日時:通年
- ③ 事業の場所:たけのこ会自立生活支援センター、利用者宅
- ④ 事業の従事者:2名
- ⑤ 事業の対象者:障害当事者ならびにその家族 計20名
- ⑥ 事業の支払額:9,454,034円

(2) 障害福祉サービス事業

ア)生活介護事業

- ① 事業の内容:通所障害者たちが作業や生活実習を通し、社会参加活動を行ない、それを7名の職員が支え、自立へのアプローチを取っている
- ② 事業の日時:通年
- ③ 事業の場所:たけのこ会協同作業所
- ④ 事業の従事者:7名
- ⑤ 事業の対象者:障害当事者 27名
- ⑥ 事業の支払額:32,570,408円

イ) 身障用グループホーム運営事業

- ① 事業の内容: スタッフが4人の入居者の身辺介助や家事援助等を行ない、共同生活というかたちを通し、地域での自立生活を実践している。
- ② 事業の日時: 通年
- ③ 事業の場所: たけのこ会アイエルホーム
- ④ 事業の従事者: 3名
- ⑤ 事業の対象者: 障害当事者 4名
- ⑥ 事業の支払額: 12, 895, 885円

ウ) 身体障害者居宅介護事業

- ① 事業の内容: 一人暮らしの障害者をはじめ、高齢の親との同居生活を行っている障害者に対し、必要な身辺介助や家事援助を行ない、在宅障害者の地域生活を支えている。
- ② 事業の日時: 通年
- ③ 事業の場所: たけのこ会介助派遣センター 派遣利用者宅
- ④ 事業の従事者: 45名
- ⑤ 事業の対象者: 障害当事者 40名
- ⑥ 事業の支払額: 124, 040, 356円